

ナオ 前にふと想像して自分でおもしろかったんですが、タイムスリップをして過去に行つてみたいな、とか、誰しも想像したことあると思うんですけど。

パリ ええと、自分が今の頭脳で若いころに戻るんじゃないかと、過去の時代に行く？

ナオ そうそう、過去の時代ね。

パリ はいはい。「江戸時代、見てみたいな」とか。

ナオ でね、本当にそれが現実になるとしたら、パリッコさんは半袖で冬に行っちゃいそうだなと思つて。

パリ はは。現地が寒いかどうか考えず。こつちが夏だから。

ナオ スリップ先の気温を考えてない。

パリ 確かに気温は考えてなかった。

ナオ ですよ。だからタイムスリップするときは、ロンTと、一応パーカーも持つておいたほうがいい。

パリ それ以前に服装は考えるじゃないですか。それこそ、「江戸時代なら着物で行ったほうがいいよな……」くらいは。

ナオ あ、そうか。江戸時代であればパーカーはかなり奇抜。

パリ 見世物ですよ。

ナオ どてらならありかな。

パリ ありですね。で、ベースは作務衣さむえでいいのかも？

ナオ ははは。作務衣ね！ 最高かも。

パリ 手に入りやすいし。

ナオ 夏も秋くらいまでいけるし、江戸でも昭和でもいける。プシューつて煙が出てるなから、腕組みして作務衣を着たパリッコさんが現れるっていう。

パリ はは。

ナオ 「え!? なんかすごい人なのかな？」

パリ 「……このへんに、どっか酒飲める店ないっすか？」

ナオ 「なーんだ。ただの酒飲みか」

パリ 「帰る帰る」つて。しかし、作務衣にどてら、タイムスリップ着としては最強なんじゃないですか？

ナオ それが結論ですね。夏だったらどてらは小脇に抱えておくと。ちょっとしたときのごろ寝布団にもなる。

パリ そうそう。

ナオ 「そうそう」じゃねえっていう。

バリ はは。

ナオ タイムスリップまでしておいて、ごろ寝する前提。

バリ お寺の軒下で一泊。

ナオ 過去の大衆酒場とかも見てみたいじゃないですか？ ただ、今と比べると衛生面へ

の意識とかだいぶ違うんだろうなーって。

バリ でしょうね〜。

ナオ 荒々しいでしょうきつと。

バリ 戦後なんかすごいですもんね、絶対。

ナオ だってそもそも、焼酎のくさみを消すためになんか混ぜたとか言いますもんね。

バリ そうか。ないもんな〜、今の焼酎に、くさみ。

ナオ 甲類焼酎の味なんか、すごくクリアですもん。

バリ 本場の焼酎のくさみ、味わってみたいですね。現代に帰ってきたら物足りなくなっちゃって。

ナオ ね！ だから我々軟弱酒飲みは、過去の時代でお腹を壊すことも一応考えておいたほうがいいので、腹巻とピオフェルミンも必携。

バリ はは、そうか。作務衣の下に腹巻して、いろいろ仕込んでおかなければですね。つ

ナオ ーかさ、そもそもどの時代に行っても、金がなくないですか？

あ、そうか。その時代のお金を持ってないわけだ。なんか一芸があるといいんでしようけどねー。時代の変化に関係ない、鳥の鳴きまねとか。

バリ はは。金、もらえるかな？

ナオ 作務衣を着た人が急に「ホーホケキョー！」で、「さあ、いくらか下さい！」。

バリ だめだこりゃ。だから、ちよつとずるして、未来の技術を使っちゃうのはどうですか？昭和の時代、学校の前でビックリマンシールを売ってたおじさんとかいたじゃないですか。あんな感じで、なにか珍しいものを売るとか。

ナオ なるほどね。

バリ というかもう、ビックリマンシール売ればよくね？ キラキラしてるし。

ナオ はは。なんかおもしろい絵だし。腹巻に入るし。

バリ 江戸時代の人に大ウケでしょう。

ナオ 確かに。「珍奇札」とか呼ばれて。

バリ ね。あ！ もっといいのがあった。エロ本の切り抜き！

ナオ はは。「エロ本の切り抜き！」じゃないですよ。

作務衣を着たら鏡を見るな

パリ ところで作務衣って、そもそもほんの少しだけ、「普段着にしてみた欲」ありません？

ナオ あります。涼し気だし、なんか、粋な感じがしてね。

パリ そう！ 粋な感じがありすぎて、まだ自分はその年齢、貫禄に達してないなと思いとどまるっていうか。いや、年齢じゃないな。器だな。作務衣を着る器。

ナオ 思いとどまりますよね。着てみたことあります？

パリ 実は亡くなった父が定年退職して、それまではザ・サラリーマンというイメージだったのが、徐々に白髭生やし、作務衣を着たりしだしたんですよ。

ナオ おお。なんかいいじゃないですか。

パリ それは似合ってた。で、いいなと思ってその作務衣を自分も着てみた記憶があり、もう、すげー似合ってた。

ナオ はは。私もなんかの機会に一回着てみて、やはり似合わなかったような記憶がありますよ。だいぶ昔だけど。

パリ 今でもさ、想像しただけで似合わないでしょう、我々。でも、たまに酒場にいるじ

ヤないですか。同世代くらいでも作務衣着てて、違和感ない人が。

ナオ ね！ しつくりくる人いるよな！。その差はなんなんでしょうね。

パリ やっぱり着続けるとなじむのかな。

ナオ そうそう！ “着てるうちに似合ってくる説”ありますよね。それでいうと革ジャンとかね。

パリ 革ジャンもわかり。着続けなといけない。そのためにはでも、今日は作務衣、明日はTシャツとかじゃだめなんですよね。

ナオ 基本的にはもう毎日着続けると。「似合わない」と思っても押し通す。というか「似合わない」っていうのがそもそも自分を一回外から見てるじゃないですか。

パリ はは。確かに！

ナオ もうそこから違うのかもしれない。

パリ 作務衣を着たら、鏡なんか見るなってことですね。

ナオ そうそう。自分がどう見えてるかなんて気にしない！ 空か大地を見る！

パリ 「作務衣を着たら鏡を見るな」「夜中に口笛をふくな」みたいな。

ナオ はは。おばあちゃんに教わる感じで。その教えに従って20年ぐらい着続け、ふと鏡を見ると……。